



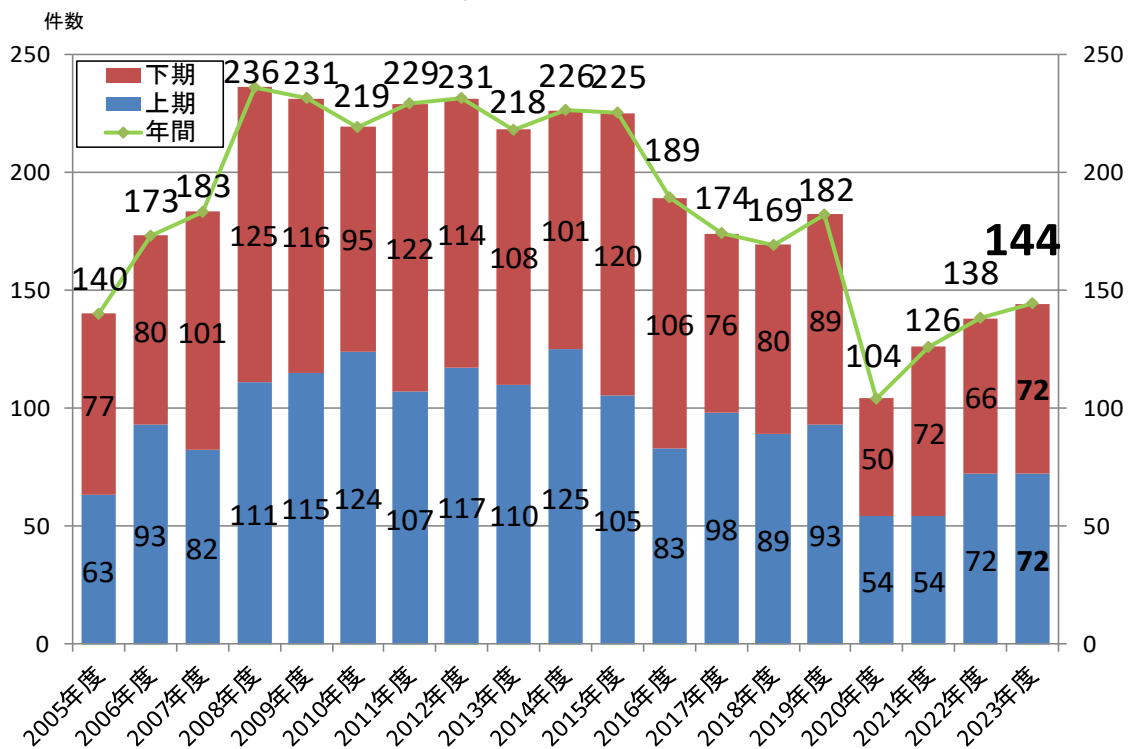
鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (2023年度/大手民鉄16社)

日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における2023年度（2023年4月～2024年3月）に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行ったところ、暴力行為の発生件数は144件（上期72件、下期72件）と、前年度に比べて6件増加しました。

2023年度の発生件数は、上期において前年度上期と同数となりましたが、下期については前年度同期と比較し増加しました。下期については飲酒の機会が増える年末年始期を含むことから、上期の件数を上回る傾向が見受けられます。

暴力行為が発生する状況としては、酩酊しているお客様を介助しようと近づいた時や、はっきりとした理由が見当たらないまま突然暴力を振るわれるケースが多く、時間帯については依然として深夜帯（22時以降）に集中して発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しており、飲酒していることが多いことが見受けられます。犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。

年度別発生件数



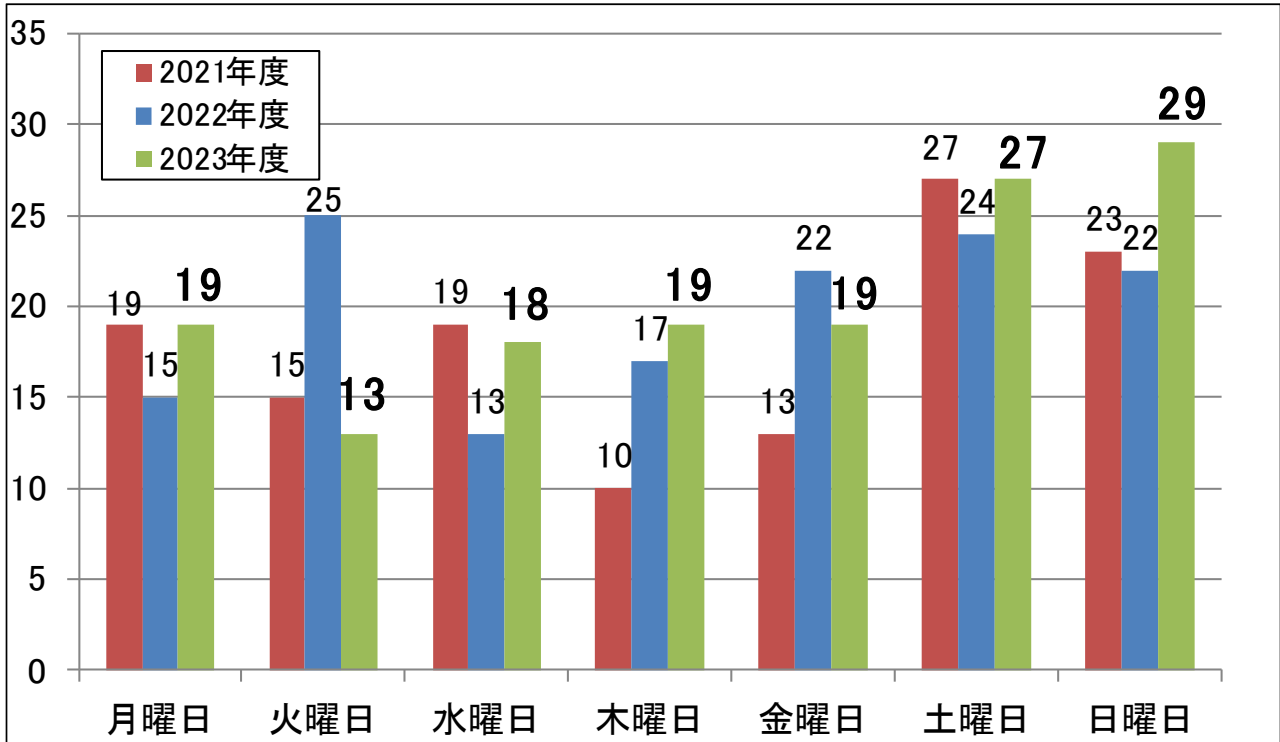
（ご参考）以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています

- 1.曜日別 発生件数 2.時間帯別 発生件数 3.主な場所別 発生件数
- 4.主な契機別 発生件数 5.加害者年齢 6.加害者の飲酒状況 7.具体的事例

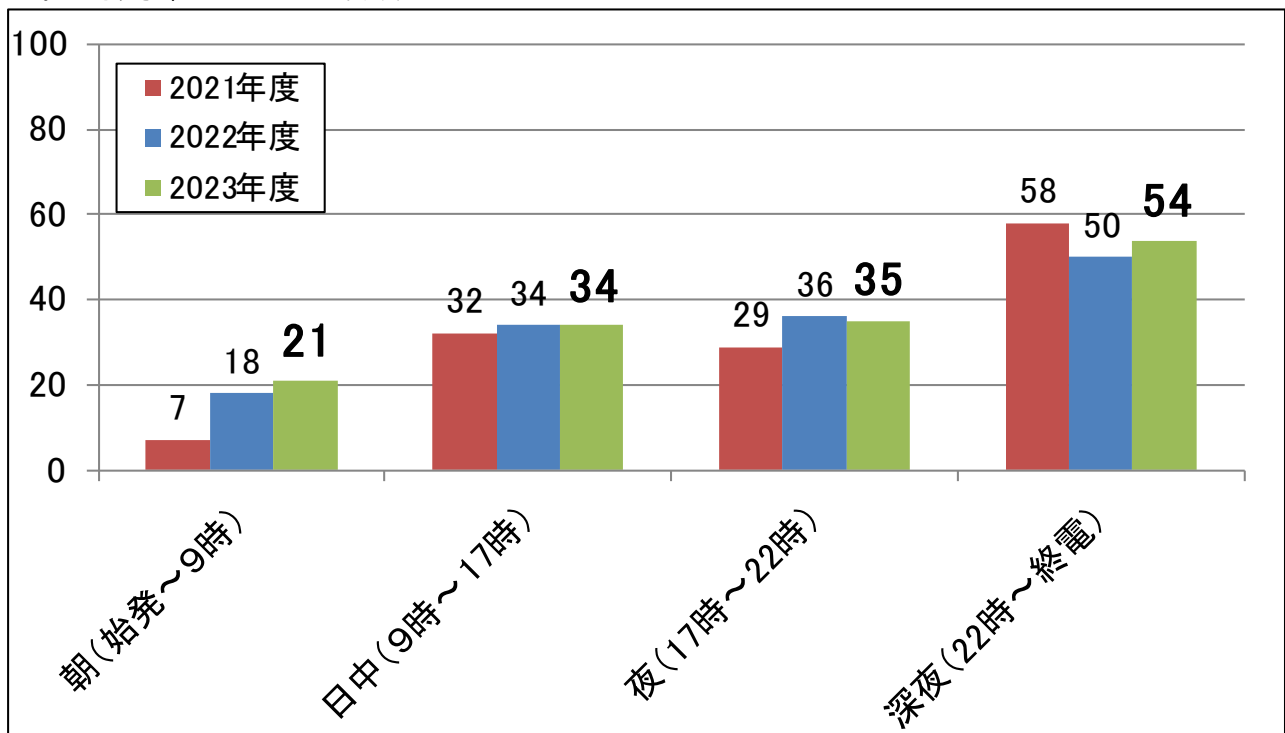
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は、公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

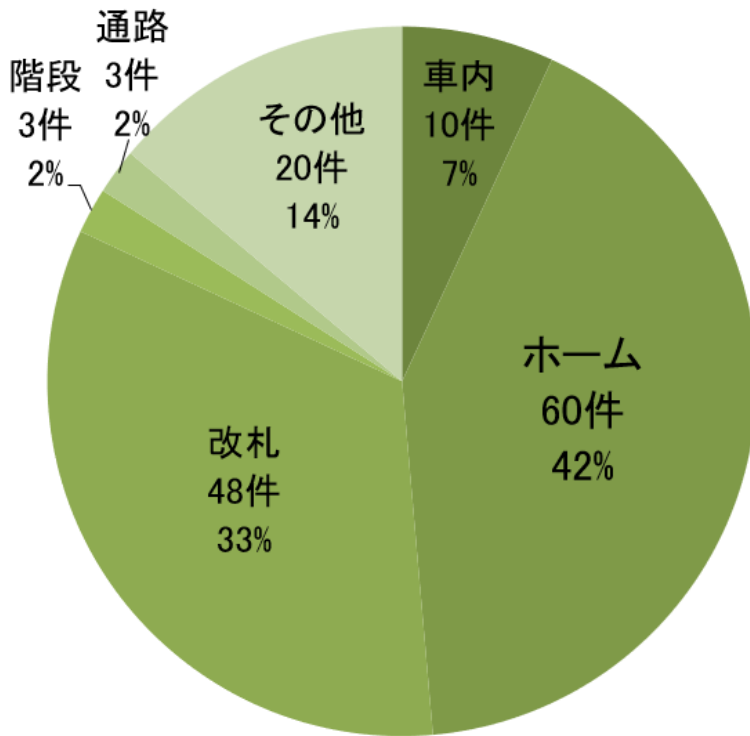
1. 曜日別 発生件数



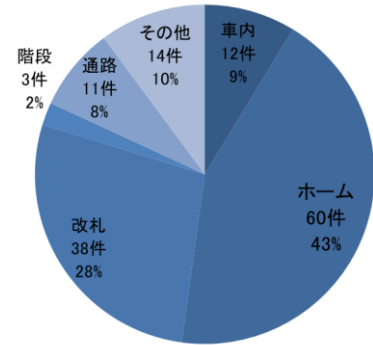
2. 時間帯別 発生件数



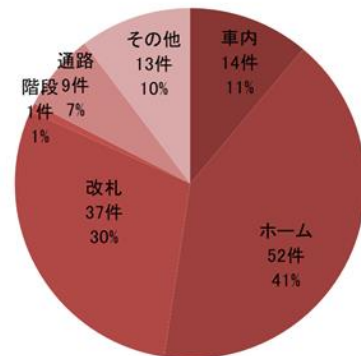
3. 主な場所別 発生件数
2023年度



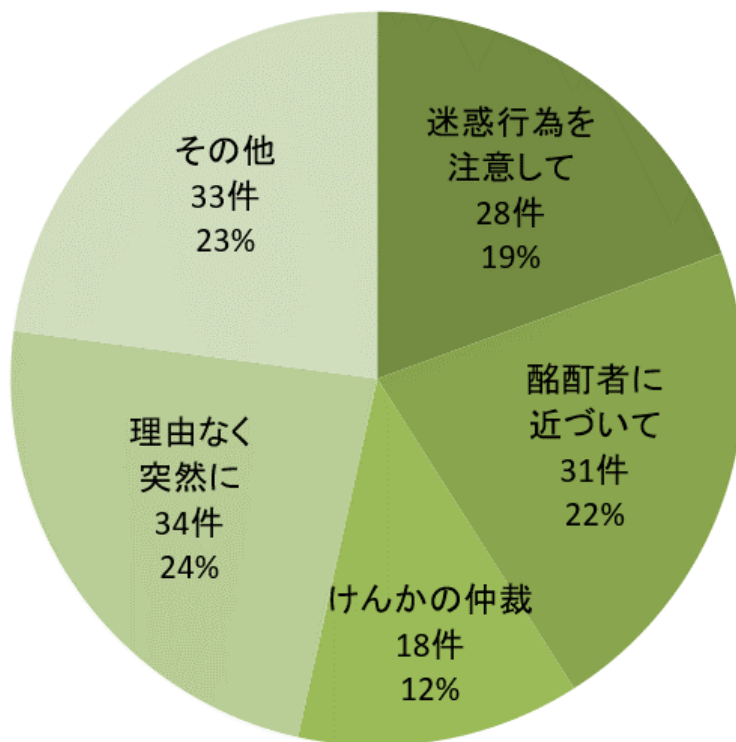
2022年度



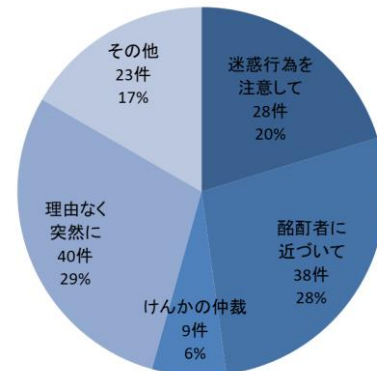
2021年度



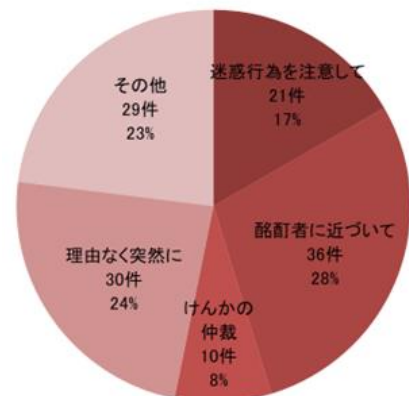
4. 主な契機別 発生件数
2023年度



2022年度

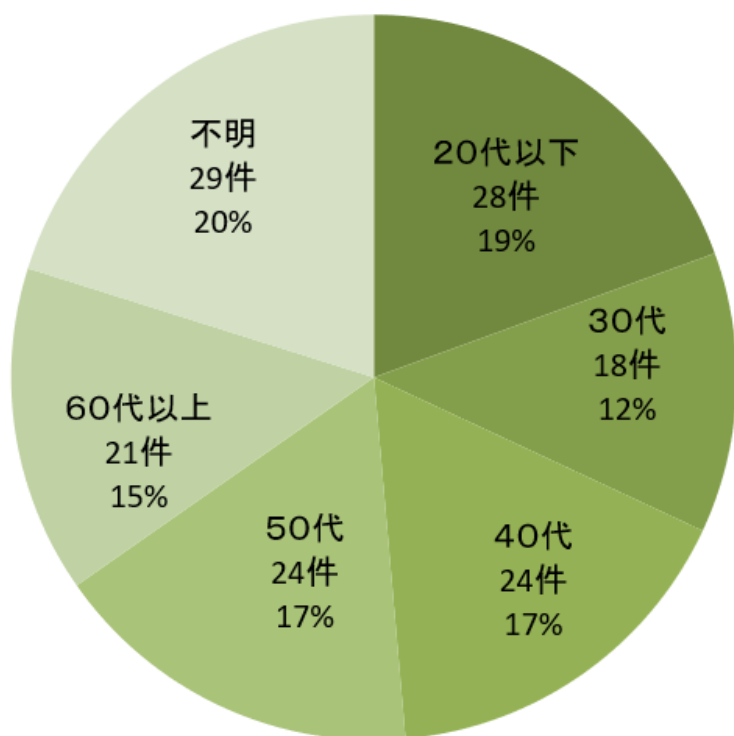


2021年度

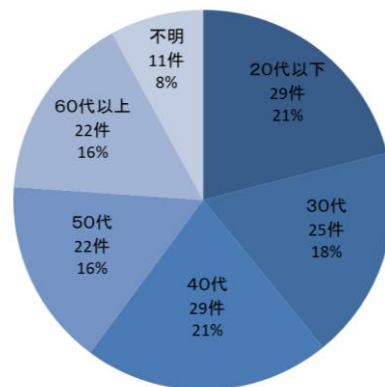


5. 加害者年齢

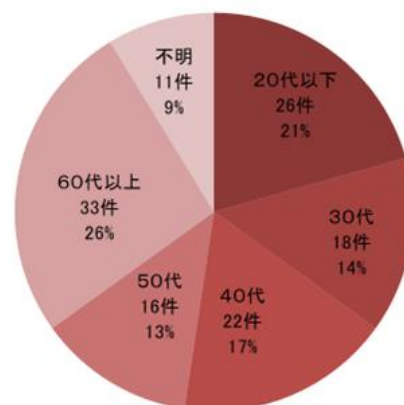
2023年度



2022年度

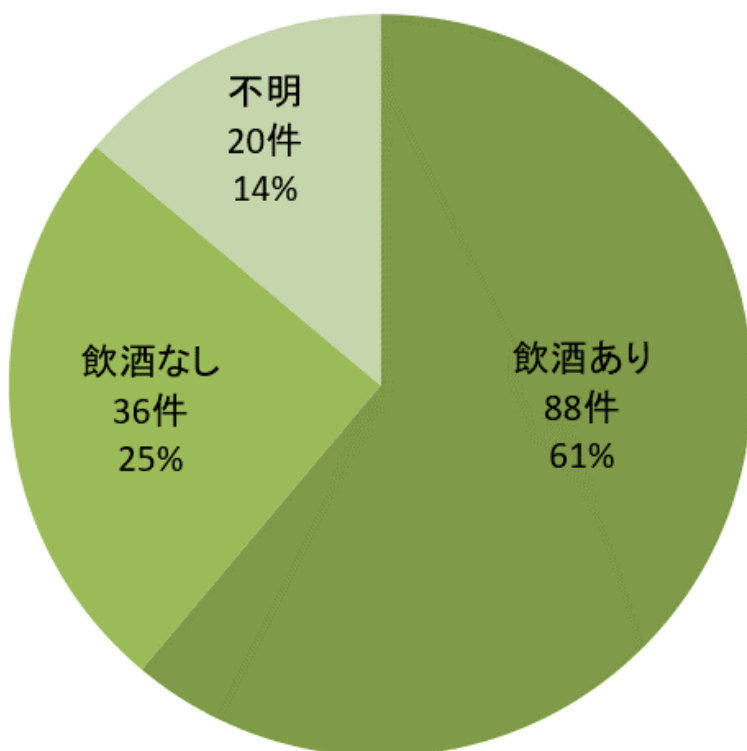


2021年度

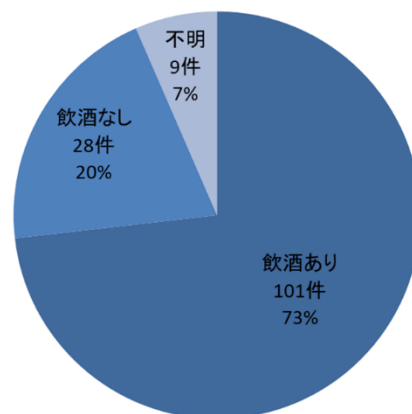


6. 加害者の飲酒状況

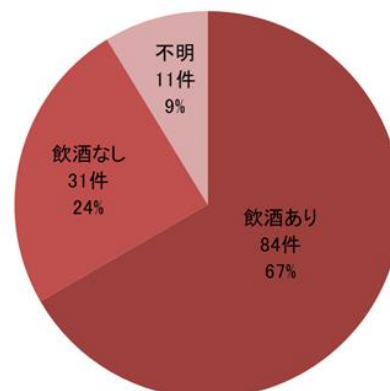
2023年度



2022年度



2021年度



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	金曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	ホーム
契機	迷惑行為を注意して	年齢	20代	飲酒	あり

酩酊した男性旅客が、営業が終了しているホームに向かったため複数の駅係員で対応し、営業が終了している旨伝えたが聞く耳を持たなかったため、ホーム上で再度終了した旨の案内をすると突然暴れだし、2名の駅係員が蹴られ受傷した。

【事例2】

曜日	月曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	ホーム
契機	けんかの仲裁	年齢	50代	飲酒	なし

ホームベンチにて着座していた加害者男性は、携帯電話で通話中の別の男性旅客に対して立腹し口論となった。ホーム係員が仲裁に入るも加害者男性の興奮は収まらず、ホーム係員と改札窓口係員の2名で対応を行った。2人を別々に誘導し、話を聞いていたところ、突然係員が、加害者男性から左肩上腕部付近に頭突きをされ受傷した。

【事例3】

曜日	月曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	改札口
契機	その他	年齢	70代	飲酒	あり

加害者は「券売機でお金を入れたのに切符が出てこない。説明しろ」とご案内カウンターに何度もぶつかってきた。お詫びするとともに説明したが納得せず、激昂して被災者の右胸を左手の拳で1回殴打した。やめるように伝えたが、被災者は再度右胸を左手の拳で殴打され受傷した。

【事例4】

曜日	月曜日	時間帯	昼（9時～17時）	場所	ホーム
契機	理由なく突然に	年齢	40代	飲酒	あり

被災者はホームで執務中、車内整理で一旦閉扉する列車に加害者が駆け込んできたため、扉に挟まれると思い制止したところ、いきなり右後頭部と顔面を数回殴打され、車両に後頭部と腰を強打し負傷した。